

授業改善プラン

油面小学校 第3学年授業改善プラン

	1 課題となる領域等	2 年間指導計画	3 単元指導計画
国語	【領域：書くこと】 (観点：思考・判断・表現) 既習事項との関連 語と語や文と文との続き方に注意しながら、文章を書いている。	①＜言葉＞ 「修飾語を使って書こう」 (10月) ②組み立てにそって、物語を書こう 「たから島のぼうけん」 (12月) ③言葉について考えよう 「つたわる言葉で表そう」 (1月)	・「主語と述語」の関係を基礎に、修飾語の役割から文の意味を正しく捉え、相手意識をもたせることで内容が正確に伝わるように文を整えて書く活動を設定する。 ① 主語・述語がそろった文に修飾語を加えることで、文が詳しく分かりやすくなる等の変化が起こることに気付く活動を設定する。 ② 物語の内容を具体的に想像できるように、出来事や出会う動物など、思い付いた意見をブレーストーミングの形式で出し合う活動を設定する。 ③ 単元冒頭で書いた文章を読み合い、互いの文章のよいところとさらによりそうなところを見付け伝え合う機会をもつ。
算数	【領域：C 測定】 (観点：知識・技能) 既習事項との関連 - ものの長さを、普遍単位を用いて表すことができる。(2年) - 液量の体積を、普遍単位を用いて表すことができる。(2年)	①時こくと時間のもとめ方 (4月) ②長いものの長さのはかり方と表し方 (6月) ③重さの単位とはかり方 (11月)	②身の回りのものの長さをはかったことを振り返り、既習の計器の長さの単位について確認する。 ②マットの長さの測定方法を話し合い、巻尺を使えば一度で正確にはかれるよさがあることに気付かせる。 ②巻尺の目盛りの付き方や特徴を捉える時間を設定し、巻尺の目盛りを正確に読み取れるようにする。 ②距離と道のりの違いを明確にし、キロメートルを用いた表し方や、他の長さの単位との関係について理解できるようにする。 ③ 1 kgの量感を身に付け、既習の単位との関係について理解できるようにする。
理科	【領域：物質・エネルギー】 (観点：思考・判断・表現) 既習事項との関連 科学的事象について、実験から得られた結果を基に考察し、問題解決しようすることができる。	①物の重さをくらべよう (12月) ②明かりをつけよう (1月)	①物の形や体積と重さについて、実験から得られた結果から、分かったことや気付いたこと、疑問などについて考察する時間を設定する。 ②電気の回路について、実験から得られた結果から、分かったことや気付いたこと、疑問などについて考察する時間を設定する。
社会	【領域：身近な地域】 (観点：思考・判断・表現) 既習事項との関連 自分と身近な人々及び地域の様々な人との関わりに関心をもち、地域の良さに気付くことができる。	①まちの人々の仕事 (9月) ②わたしたちの暮らしをまもる仕事 (12月)	① 地域の工場などで働く人々の工夫や努力について考え、話し合う機会をもつ。 ② 消防署などについて調べたことを基に、暮らしを守るはたらきをしている人と地域の関わりを考えながら、友達と考えを交流する活動を設定する。